

年間プランの立て方

※1年間にいくらならムリなく貯蓄できるか、何にどうお金を使えばいいかを、このページで把握しましょう



まずボーナスや預金利息、配当などの特別な収支と、それをアテにした大きな支出を書き出してみます
次に各種料金が自動引落しされている預金通帳などをみながら、1か月のお金の出入りをメモします

ことしのトータルプラン

※上手な家計管理はお金の交通整理から

STEP1

1年間のお金の流れとひと月のお金の流れを確かめましょう

年間

月間

収入は税金等が引かれる前の額面金額(予想額)を書いてください
税金や社会保険料などの強制的な天引き分も忘れずに書きましょう

電気代、ガス代、電話代など月によって金額が違うものについては、平均額を書いておきます

支払いが1か月おきの支出も忘れないように書き出しましょう

「入ってくるお金」に印をつけるなどして、「出ていくお金」と区別してください

月	入ってくるお金	出ていくお金	日	入ってくるお金・出ていくお金
1月		お年玉 20,000 マイカーローン 100,000	1	教育積立 10,000
2月			2	
3月	期末手当 220,000	所得税など 20,000 妹の結婚式 50,000	3	
4月		甥の入学祝 5,000	4	
5月		自動車税 40,000	5	電気 7,400
6月	ボーナス 570,000	所得税など 50,000	6	〇〇クレジット代金引落し
7月		お中元 20,000 マイカーローン 100,000 教育保険 50,000	7	
8月			8	
9月		父の還暦祝 30,000	9	
10月			10	電話 6,000
11月			11	
12月	ボーナス 890,000	所得税など 90,000 お歳暮 25,000	12	
			13	
			14	
			15	水道 6,000
			16	
			17	
			18	
			19	
			20	ガソリン 5,000(春男渡し)
			21	
			22	ガス 5,000
			23	
			24	共同購入(肉) 5,000
			25	給料36万 各種天引
			26	新聞 3,650
			27	
			28	NHK 2,640
			29	共同購入(魚) 5,000
			30	家賃 50,000
			31	駐車場 5,000

貯蓄に回す金額を先に決めれば、安心してお金が使えます



毎月定期的に入ってくるお金、すでに貯蓄に回すことが決まっているお金、支払いが確定しているお金などについて、その内容と金額を書き出し、自由になるお金がいくらなのか把握します。ボーナスなどの特別な収支も同様に行います

毎月の収入から自由になるお金と特別な収入から自由になるお金を現在の生活の充実のための支出と将来の計画を実現するための貯蓄に上手に振り分けます。「ライフデザイン」のページを見ながら考えるといいでしょう

【38～39ページに記入例があります】

STEP2

ことし、入ってくるお金と出ていくことが決まっているお金の予想額を書き出して、自由にプランできる金額を知りましょう

STEP3

自由にプランできるお金 (STEP2の④、⑤) をことし使うお金と将来使うお金に分けましょう

		毎月		ボーナスなど	
収入	夫 給与	360,000	期末手当	220,000	
	妻		夏ボーナス	570,000	
			冬ボーナス	890,000	
	計 A	360,000	計 ④	1,680,000	
税・社会保険料	夫 給与分	60,000	期末手当分	20,000	
	(源泉徴収)		夏ボーナス分	50,000	
			冬ボーナス分	90,000	
	計 B	60,000	計 ⑤	160,000	
使えるお金 C=A-B		300,000	使えるお金 ⑥=④-⑤		1,520,000
貯蓄	住宅財形	20,000	住宅財形(夏)	200,000	
	教育積立	10,000	住宅財形(冬)	200,000	
			教育保険	50,000	
計 D	30,000	計 ⑦	450,000		
ローン			マイカーローン	200,000	
	公共料金	30,000	交際費	150,000	
その他	こづかい(春期)	40,000	マイカー費	60,000	
	こづかい(夏期)	20,000	こづかい(春期)	80,000	
	ガソリン	5,000	こづかい(夏期)	50,000	
	家賃	50,000			
	駐車場	5,000			
	生命保険	15,000			
	計 E	165,000	計 ⑧	540,000	
自由プラン F=C-D-E		105,000	①=C-⑦-⑧		530,000

		毎月		ボーナスなど	
ここので使うお金(支出)	食費	60,000	家族旅行	150,000	
	レジャー費	10,000	洋服	180,000	
	交際費	10,000	冷蔵庫	150,000	
	ゆとり費	10,000			
	雑費	5,000			
	計 G	95,000	計 ⑨	480,000	
将来使うお金(貯蓄)	レジャー積立	10,000	レジャー積立	50,000	
	計 H=F-G	10,000	計 ⑩=⑦-⑨	50,000	

税引き前の金額を書きます。収入に変動がある場合は平均額とします

ここでは源泉徴収されるもののみを書きます。自動車税や固定資産税などは下の支出欄に書いてください

任意の給与天引き分も忘れないようにしましょう

貯蓄性が高い保険はこの欄に、掛け捨て保険は下の支出欄に書いてください

5大公共料金(電気・ガス・水道・電話・NHK)の1か月の利用料の合計の概算額を書いてください

自動車税、自動車保険、点検整備費用など、マイカーに関する経費をまとめたものです。他の支出についても、費目分けは各自で工夫してください

STEP4

ことしの貯蓄予定額を計算してみましょう

ことしの貯蓄予定額は
 $(D+H) \times 12 + d + h =$

980,000 円

「ライフデザイン」(2~3ページ)のことしの貯蓄目標額と比べてみて、ちがう場合は調整しましょう

STEP2の「貯蓄」とSTEP3の「将来使うお金」の合計額を出してみましょう。これがことしの貯蓄予定額です

STEP3でこのお金の使い方を検討します